

2014年2月21日



2013年12月期 決算説明

内外トランスライン株式会社

銘柄コード 9384(東証二部)



# 1. 当社グループの業務フィールド

# 貨物輸送の区分

国際・国内区分	輸送手段	輸送手段の保有	作業区分 / 作業内容	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国際物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 船舶 (海上)</li> <li>・ 航空機 (航空)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 有 ⇒ 実輸送業者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- 船会社</li> <li>- 航空会社</li> <li>- 鉄道会社</li> <li>- トラック会社</li> </ul> </li> </ul> (代理店ビジネス)	輸送	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幹線</li> <li>・ 地域</li> <li>・ コンテナ(トラック)単位</li> <li>・ 混載</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 国内物流</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 鉄道・トラック (陸上)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 無 ⇒ 利用運送業者                             <ul style="list-style-type: none"> <li>- フォワーダー</li> <li>- NVOCC</li> <li>- 航空フォワーダー</li> </ul> </li> </ul>	荷役	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 仕分</li> <li>・ 入出庫</li> <li>・ コンテナ(トラック)積降</li> </ul>
			保管	
			梱包	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 輸出仕様</li> <li>・ 国内仕様</li> </ul>
			流通加工	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 検品、検針</li> <li>・ 補修</li> <li>・ タグ付, 値札付</li> </ul>
			物流情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ カーゴトレース</li> <li>・ 流通在庫</li> </ul>
			輸出入通関	

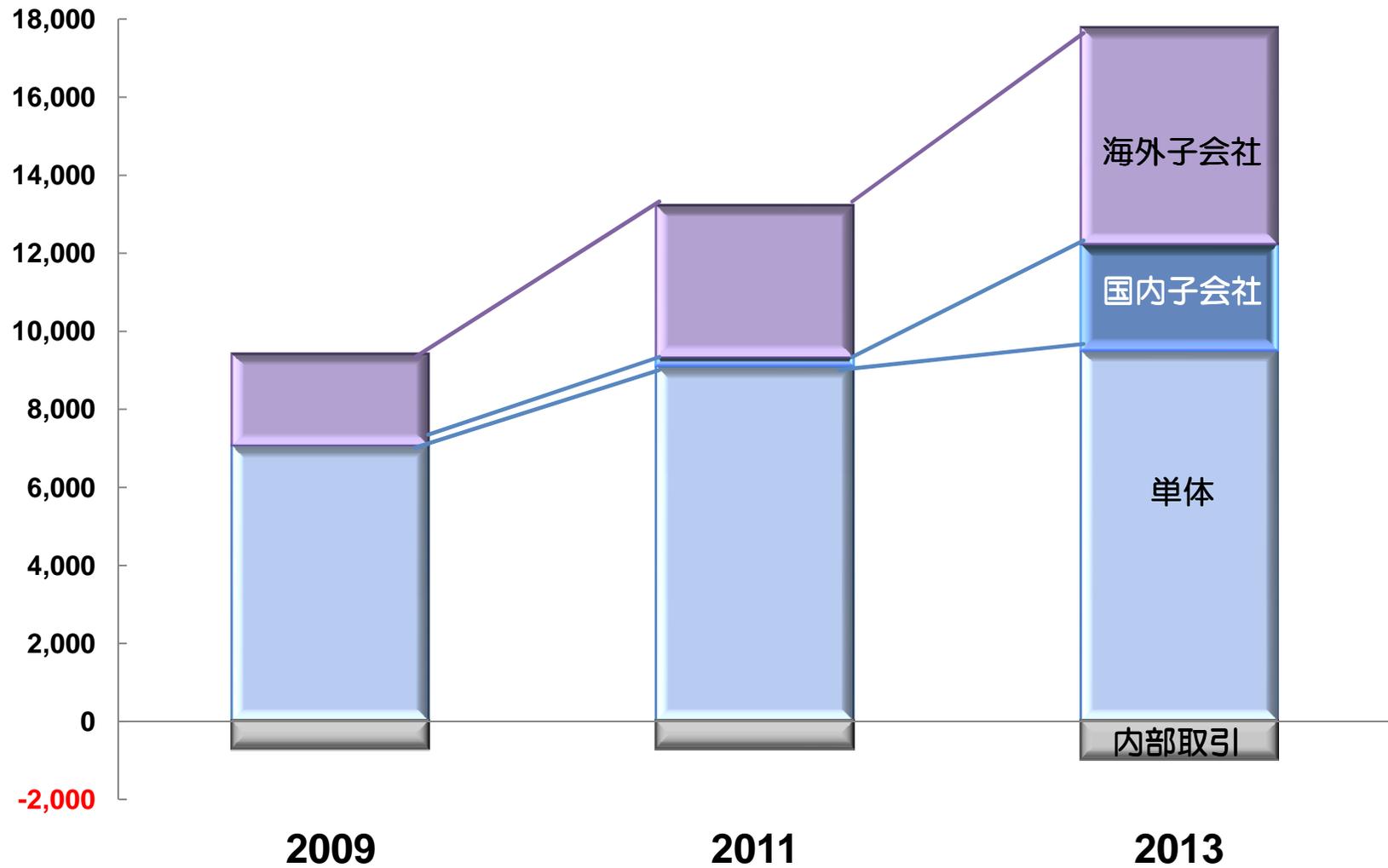
赤字：当社の主たるビジネス(海上輸出混載)

青字：当社グループ内での取扱ビジネス

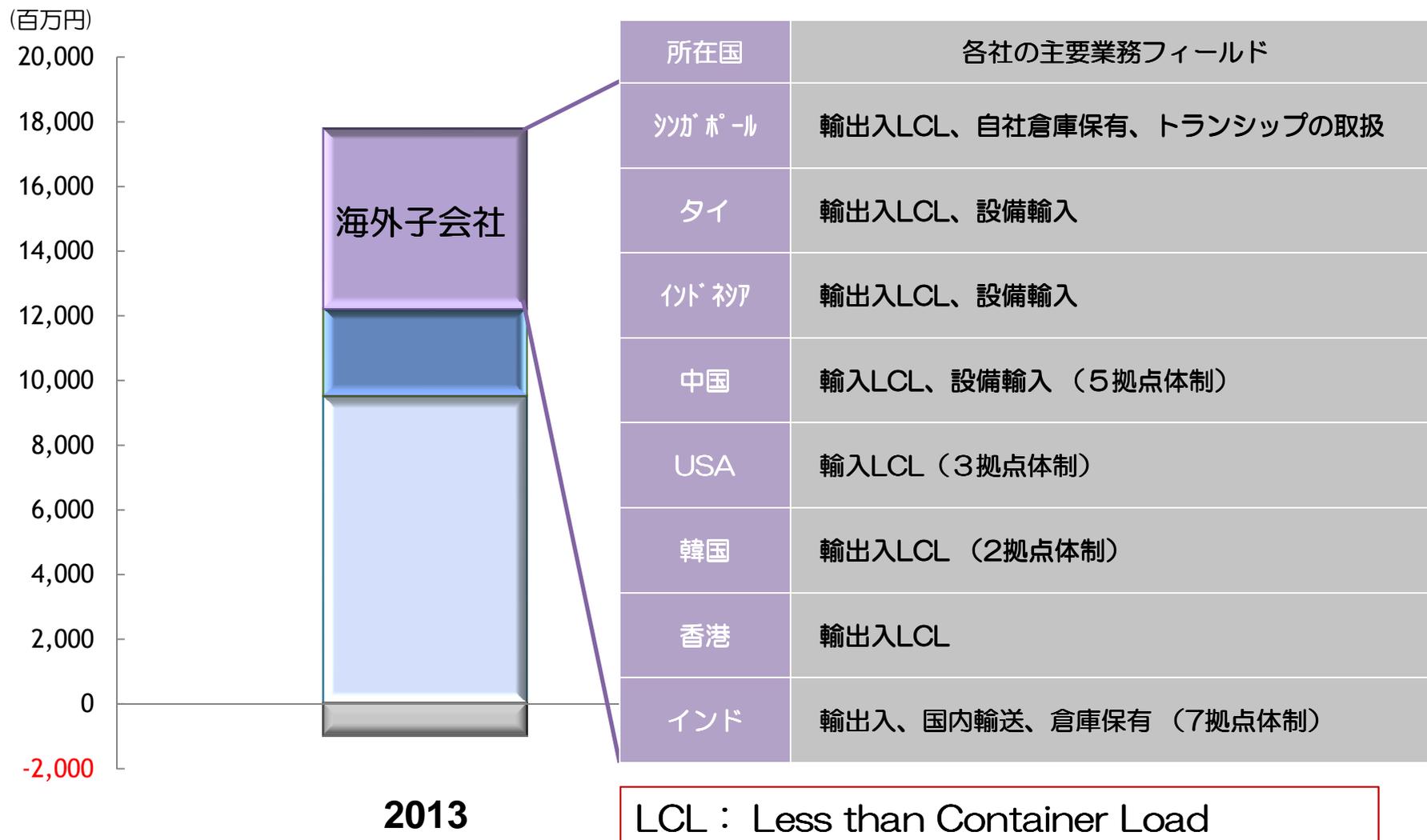
NVOCC : Non-Vessel Operating Common Carrier

# 当社グループセグメント別売上の推移状況

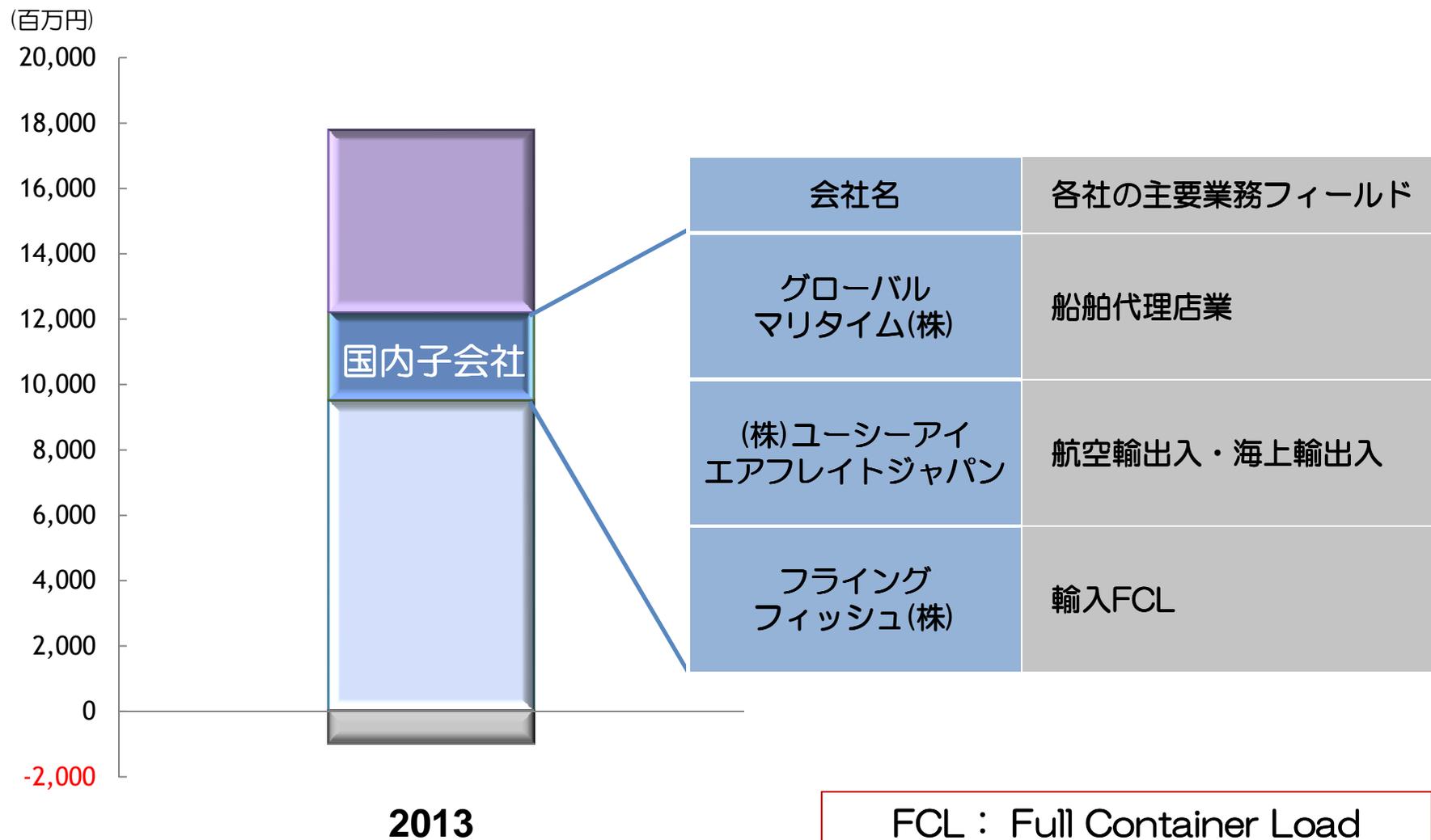
(百万円)



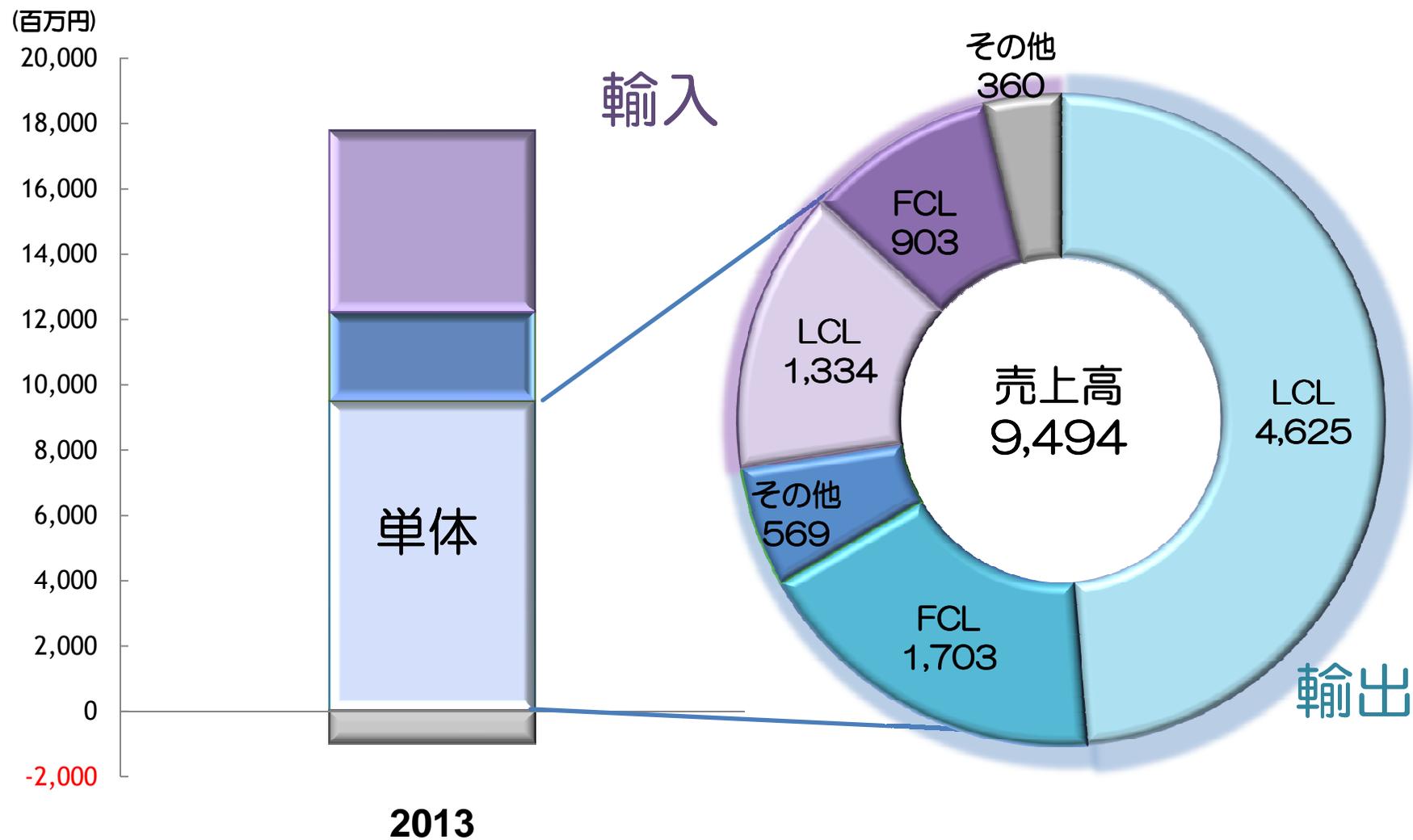
# 海外子会社の業務フィールド



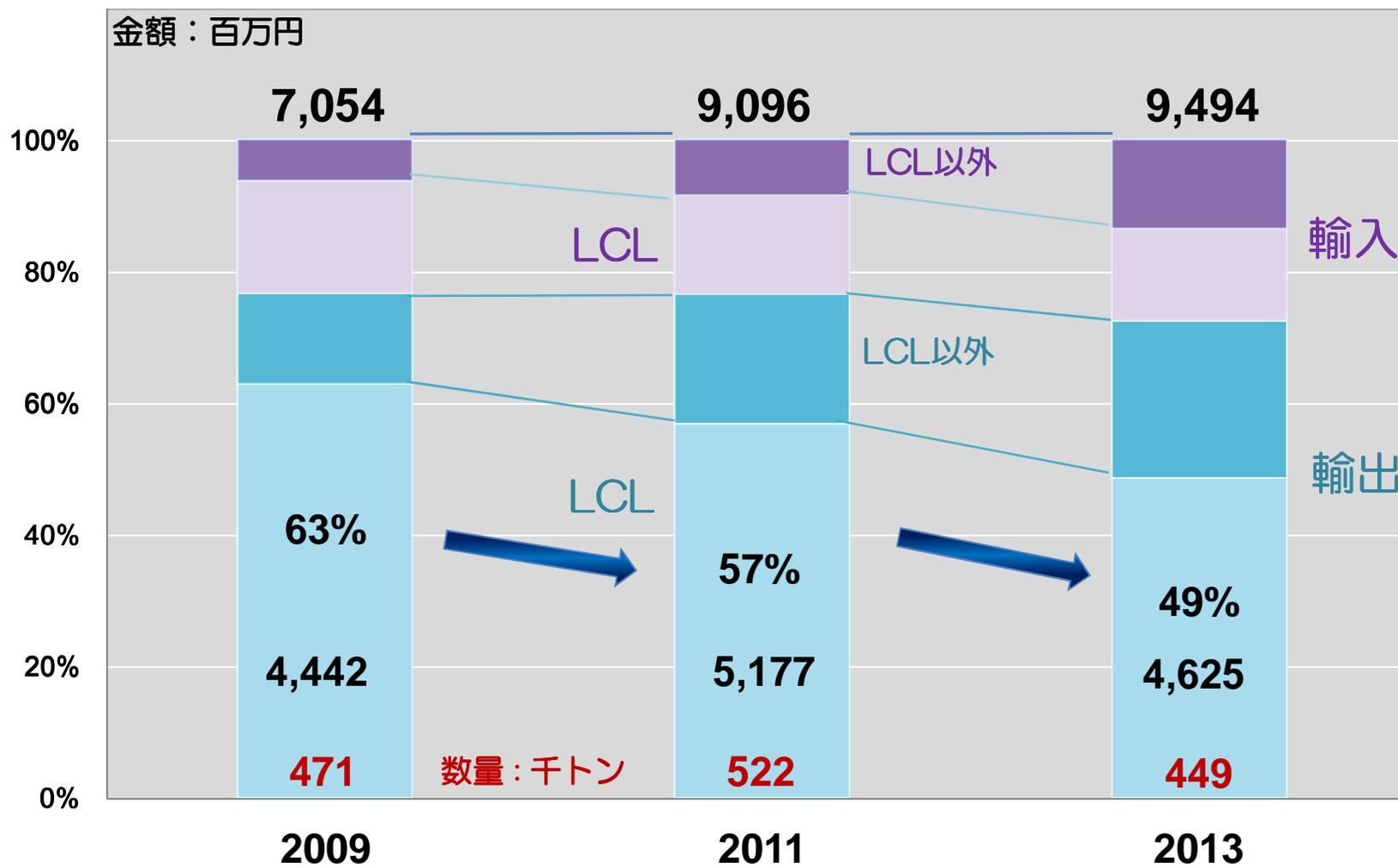
# 国内子会社の業務フィールド



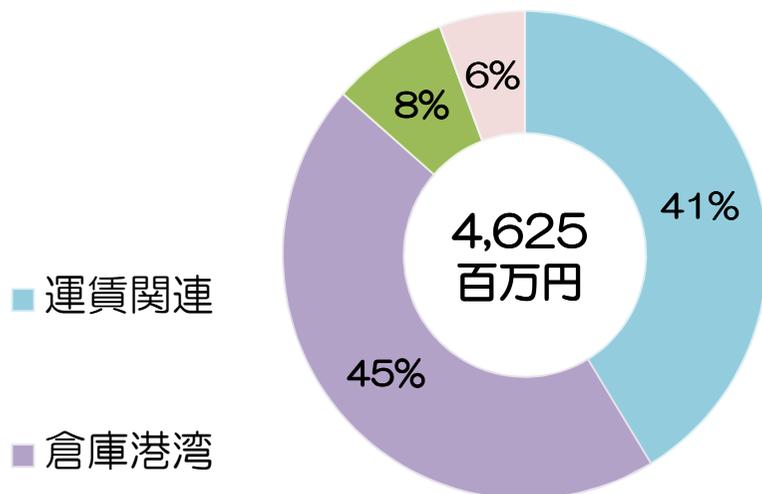
# 単体の業務フィールドと売上内訳



# 単体の売上内訳推移



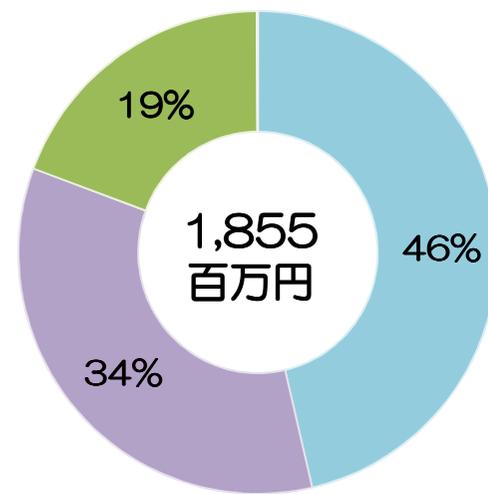
# 単体における輸出混載貨物の収益性



売上

輸出LCL

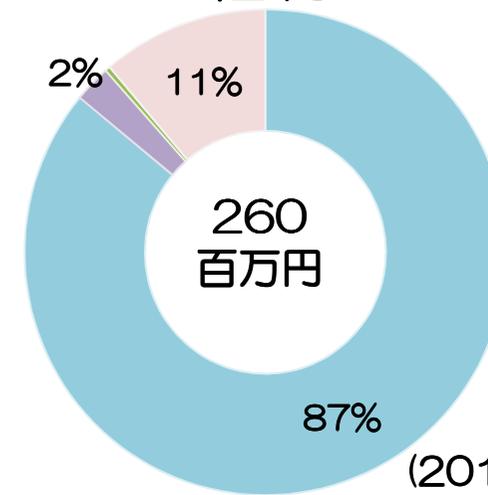
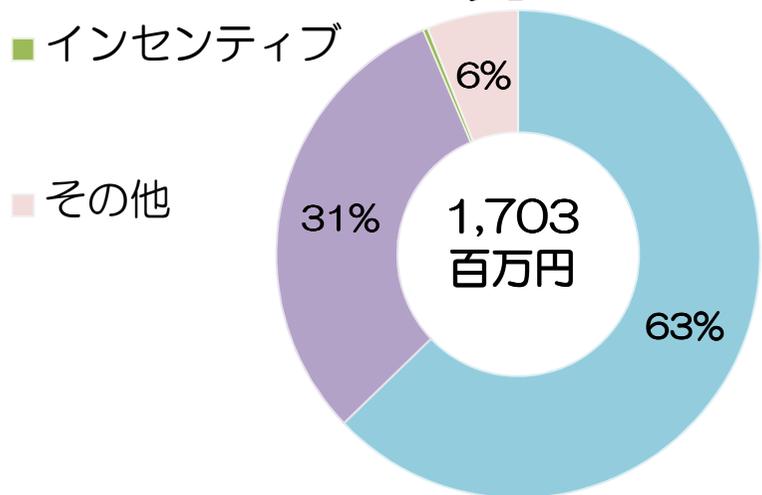
粗利率  
40%



粗利

輸出FCL

粗利率  
15%



(2013年度の実績)

## 海外現法における当社からの輸入混載貨物の収益性

単位：百万円	売上額	(比率)	粗利額	(比率)	粗利率
当社現法8社の合計金額	<b>526</b>	<b>100%</b>	<b>149</b>	<b>100%</b>	<b>28%</b>
上記売上・粗利額のうち 当社を代理店とする取引	<b>259</b>	<b>49%</b>	<b>98</b>	<b>66%</b>	<b>38%</b>
上記取引のうち 海外現法の輸入混載取引	<b>164</b>	<b>31%</b>	<b>80</b>	<b>54%</b>	<b>49%</b>

(2013年12月の実績)

## 2. 決算概況



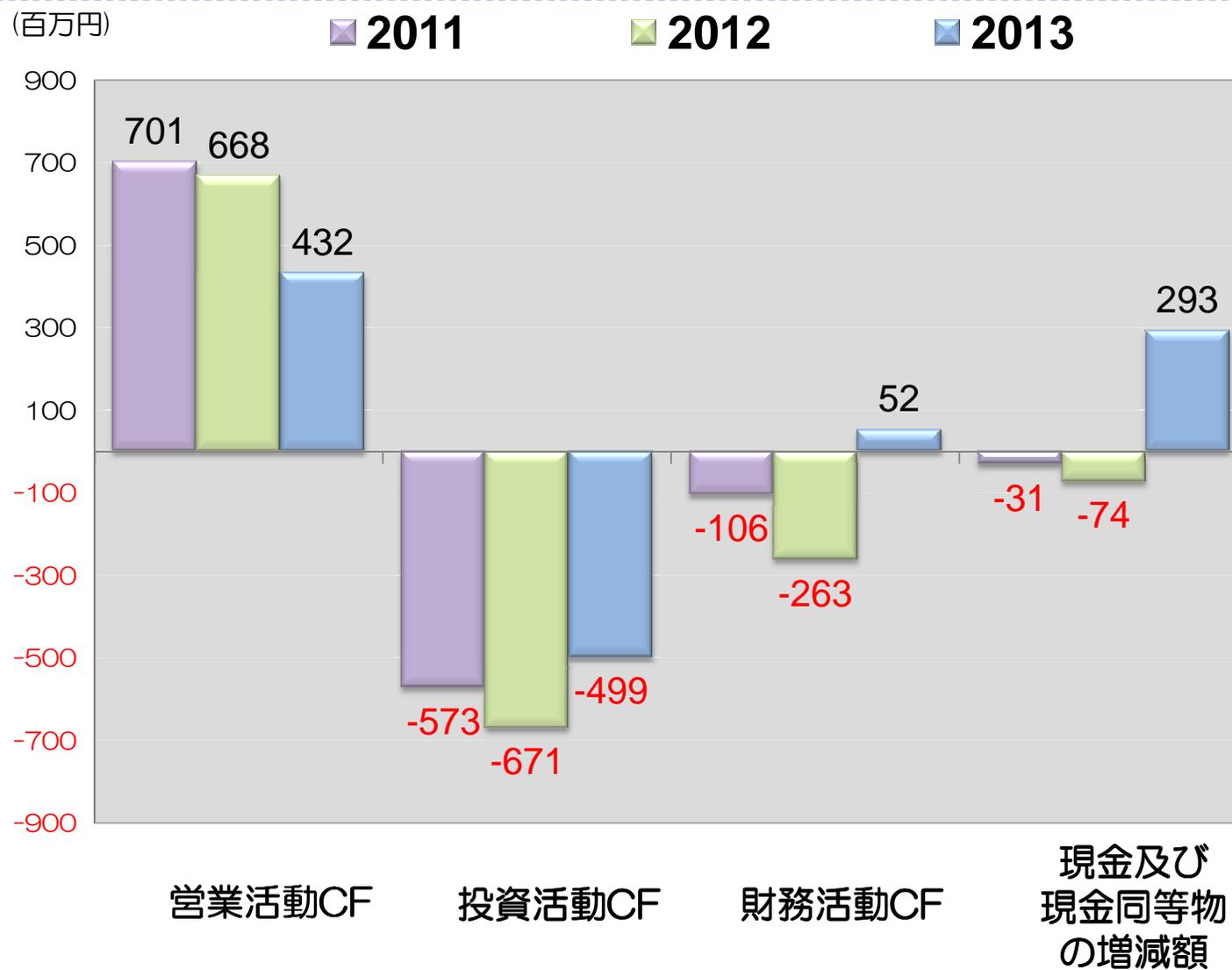
## 連結決算の業績概要

単位:百万円	2013	2012	対前年 増減額	2013	対計画 乖離額
	実績	実績		期初計画	
売上高	16,796	13,405	3,391	15,000	1,796
営業利益	1,142	908	234	1,300	-158
経常利益	1,204	975	229	1,300	-96
当期純利益	729	459	270	800	-71
為替レート(USD)	97.72	79.81	17.91	85.00	12.72

\*円安効果・事業譲受等もあり、売上においては増収かつ期初計画を達成した。

\*利益面では増益となったものの、のれん償却負担等により期初計画未達となった。

# 連結キャッシュ・フロー



# 連結貸借対照表

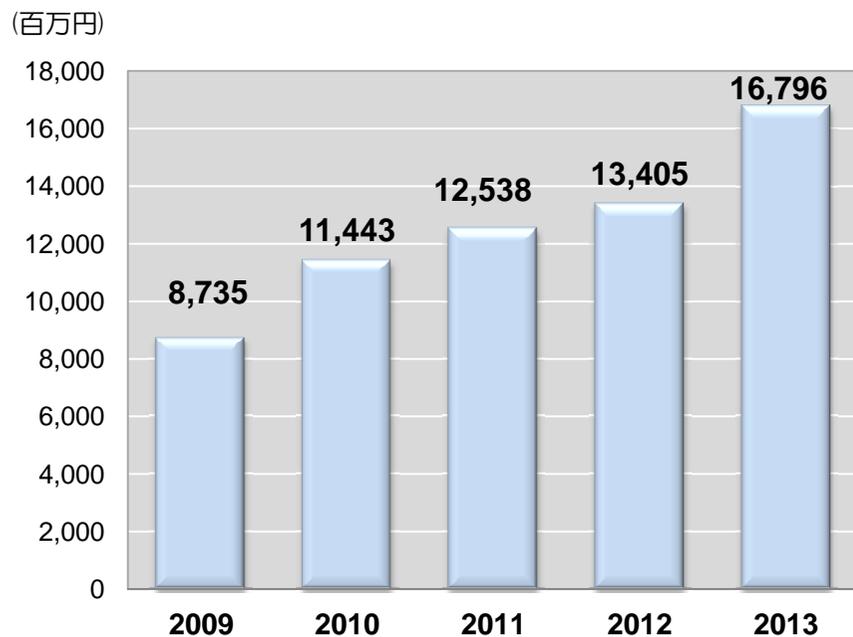
総資産 8,980百万円 (+1,870)

《主な変動要因》		流動資産 6,138 (+1,150)	負債 2,355 (+856)	《主な変動要因》	
流動資産				負債	
・売掛金	+851	固定資産 2,842 (+721)	純資産 6,625 (+1,015)	・買掛金	+435
・有価証券	▲218			・短期借入金	+226
固定資産				純資産	
・のれん	+671			・利益剰余金	+585
・投資有価証券	+136			・為替換算調整勘定	+351
・長期貸付金	▲173				

単位:百万円 ( )内は前期末比増減

# 連結売上高と営業利益の推移

## 売上高

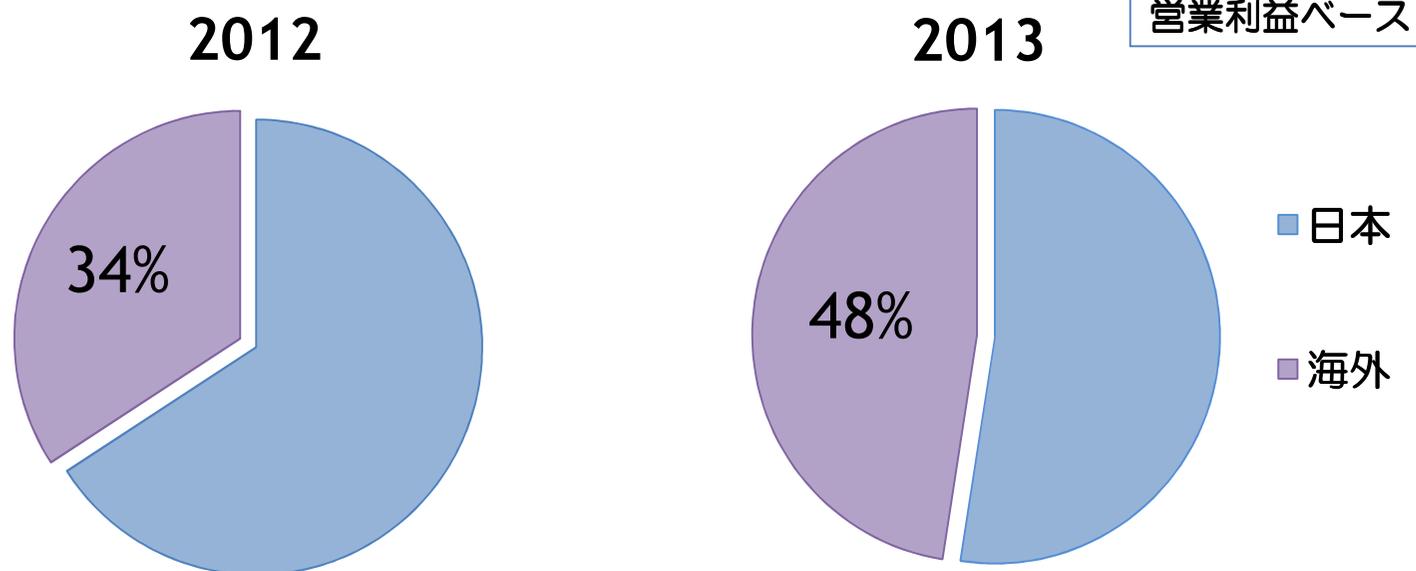


## 営業利益



# 海外セグメントの利益シェア

単位：百万円	日本	海外	計	海外比率
2012	638	331	969	34%
2013	631	572	1,203	48%



### 3. 2014年度の事業計画



## 事業環境の認識

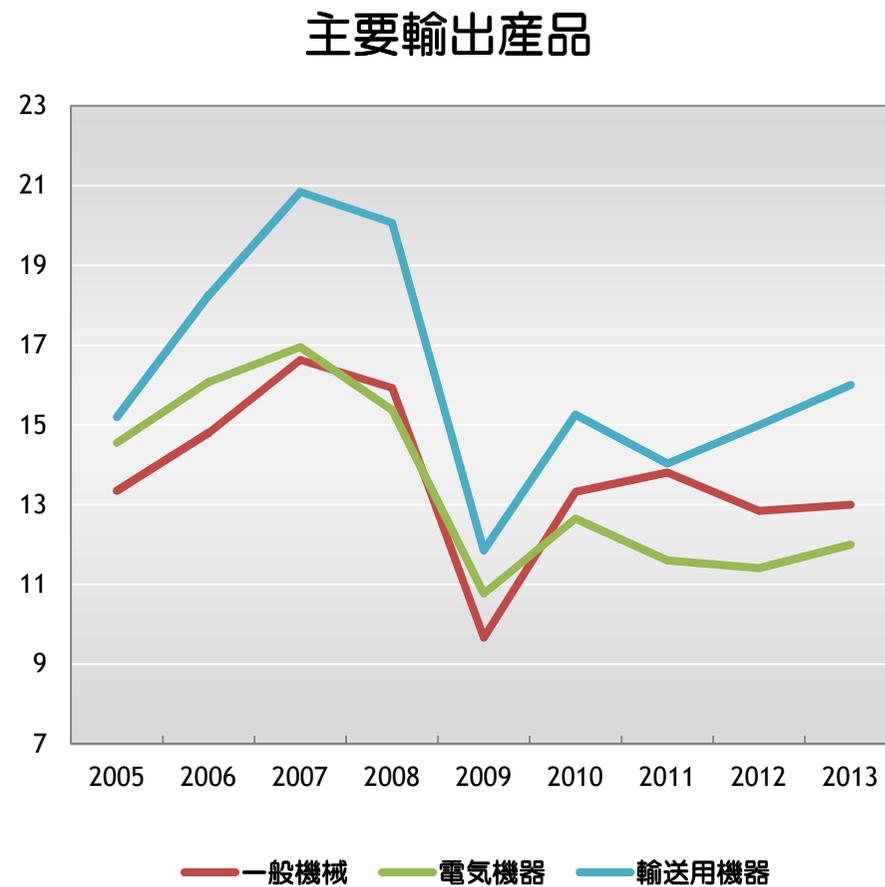
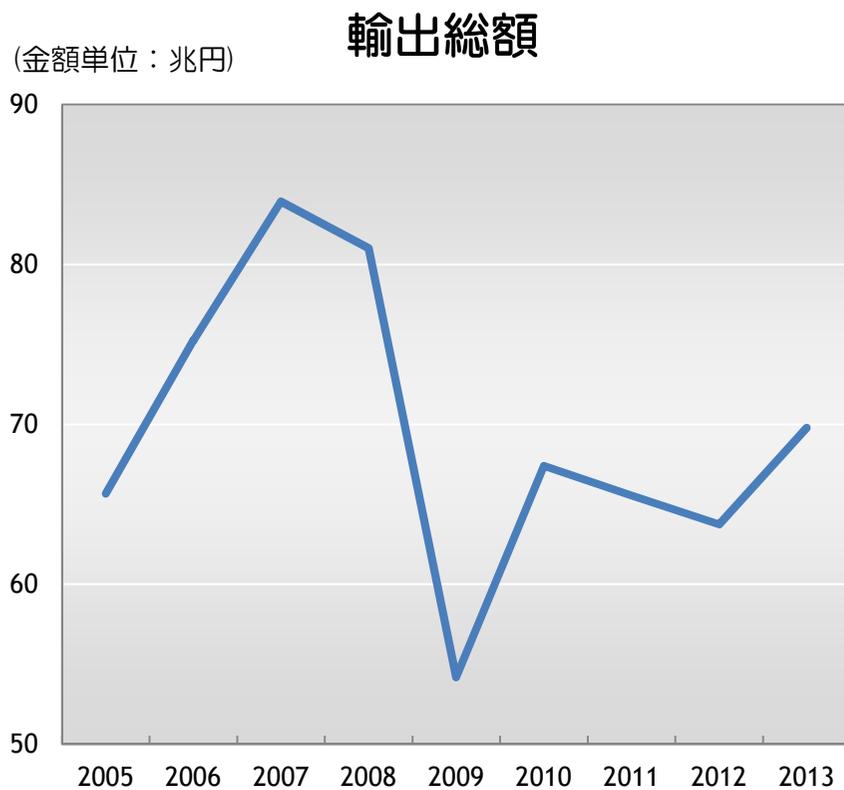
### 国内

- ・ 為替水準の定着化と浸透による輸出拡大本格化の期待
- ・ 海外生産拡大に伴い、輸出のJカーブ効果に大きな期待は禁物
- ・ TPP等の貿易自由化促進の具体策は進展する
- ・ 資産効果や賃金アップによる内需拡大の期待
- ・ 消費税率やエネルギー価格の上昇による消費マインド低下懸念

### 海外

- ・ 中国はじめアジア各国における経済成長の維持
- ・ 中国を巡る政治軋轢やアジア諸国における国内政治混乱による影響懸念
- ・ 米国の金融緩和縮小に伴う新興国経済への波及による混乱懸念
- ・ 最悪期を脱出した欧州経済の運営は安定的に推移
- ・ 米国における金融緩和縮小策と経済運営政策は均衡を保つ

# 事業環境 (全国輸出の状況-1)



出典：財務省 「貿易統計」

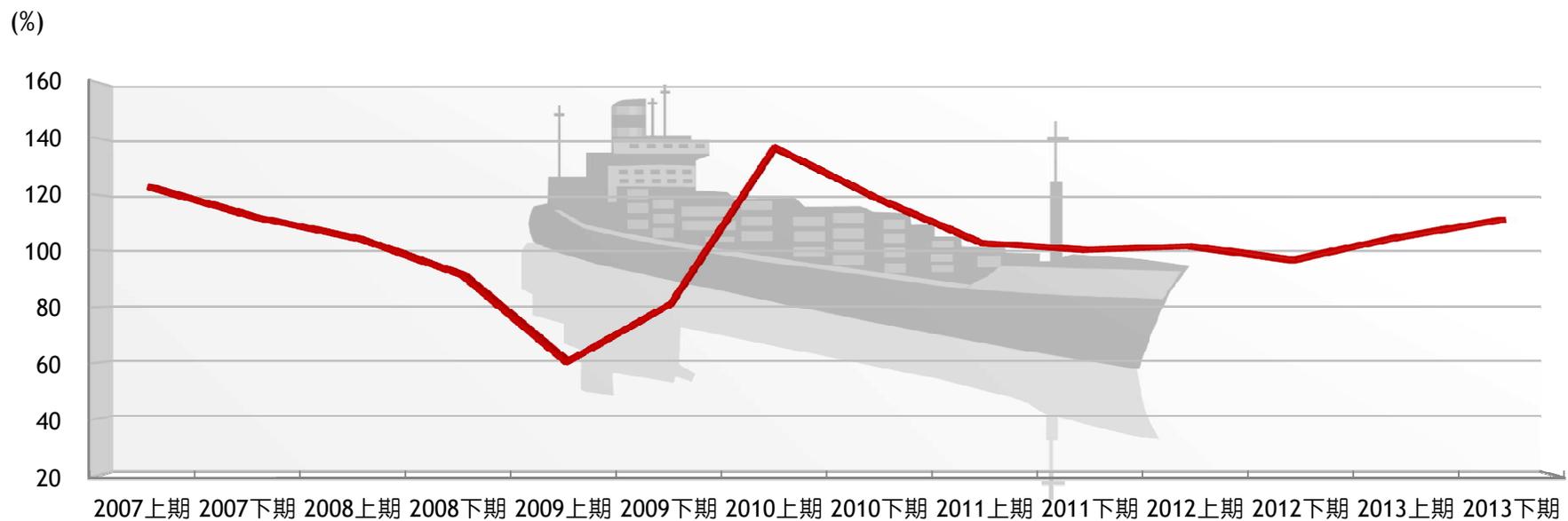
## 事業環境 (全国輸出の状況-2)

	2000	シェア	2005	シェア	2010	シェア	2013	シェア
1位	自動車	13.4	自動車	15.1	自動車	13.6	自動車	14.9
2位	半導体 電子部品	8.9	半導体 電子部品	6.7	半導体 電子部品	6.2	鉄鋼	5.4
3位	事務用機器	6.0	鉄鋼	4.6	鉄鋼	5.5	半導体 電子部品	5.1
4位	科学 光学機器	5.1	自動車部品	4.3	自動車部品	4.6	自動車部品	4.9
5位	自動車部品	3.6	科学 光学機器	3.8	プラスチック	3.5	有機化合物	3.6

出典：財務省 「貿易統計」

# 事業環境(全国海上コンテナ輸出の伸長動向)

## 全国海上コンテナ（対前年同期比）

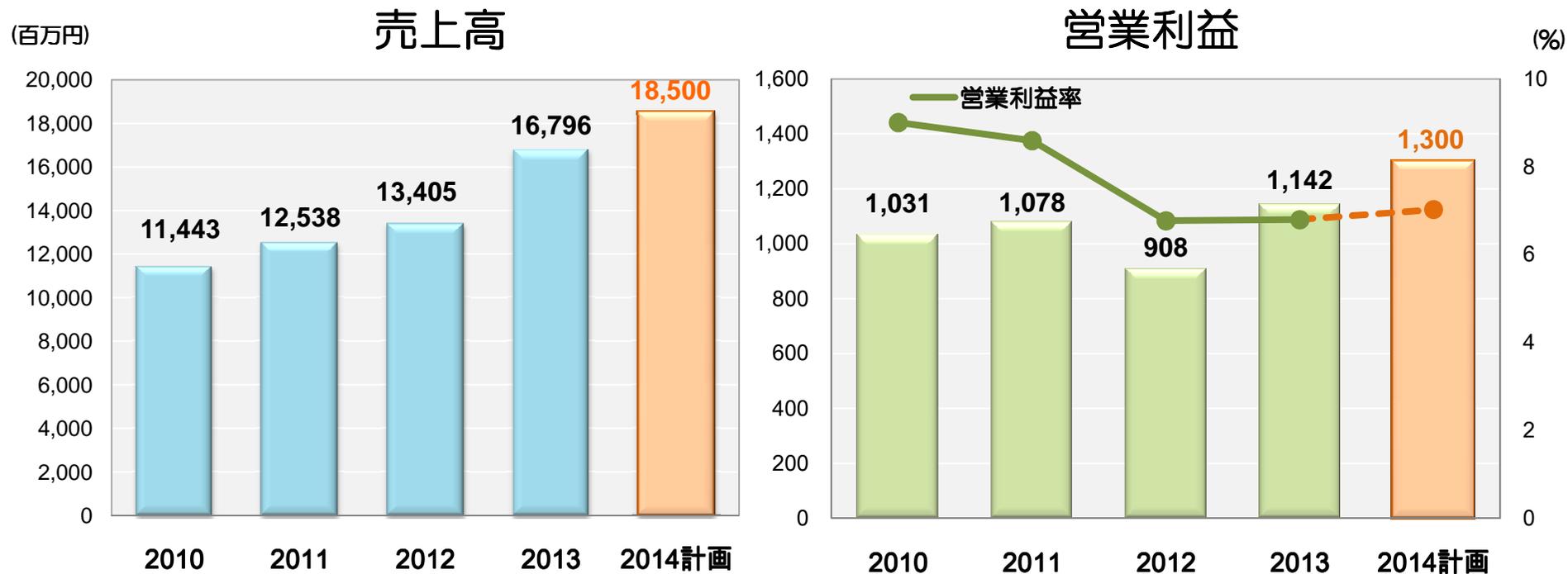


出典：財務省「貿易統計」

## 事業計画の計数概要

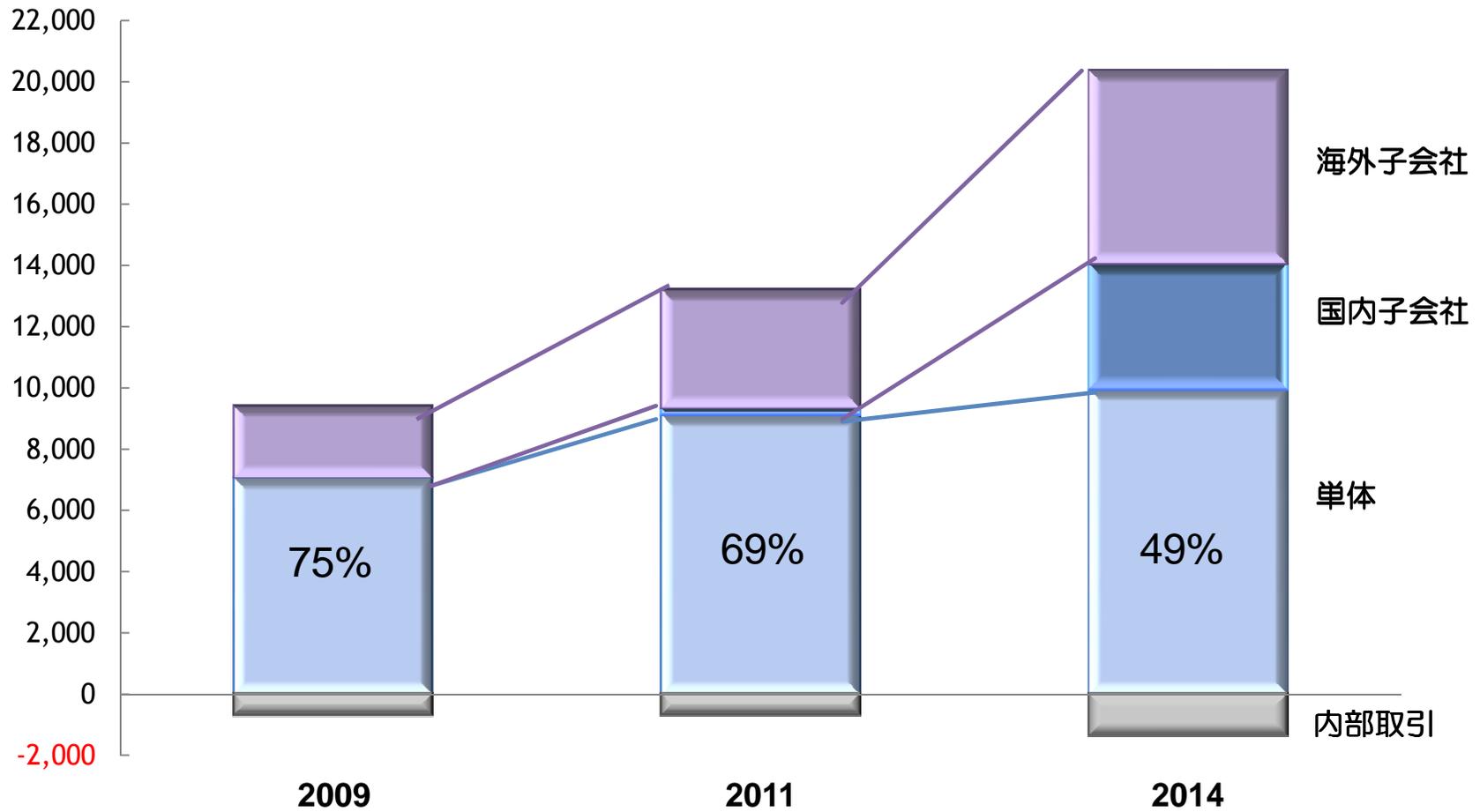
単位:百万円	2014	2013	前期比	
	計画	実績	増減金額	増減率
売上高	18,500	16,796	1,704	10.1%
営業利益	1,300	1,142	158	13.8%
経常利益	1,300	1,204	96	7.9%
当期純利益	850	729	121	16.5%

# 連結売上高と営業利益の実績と計画

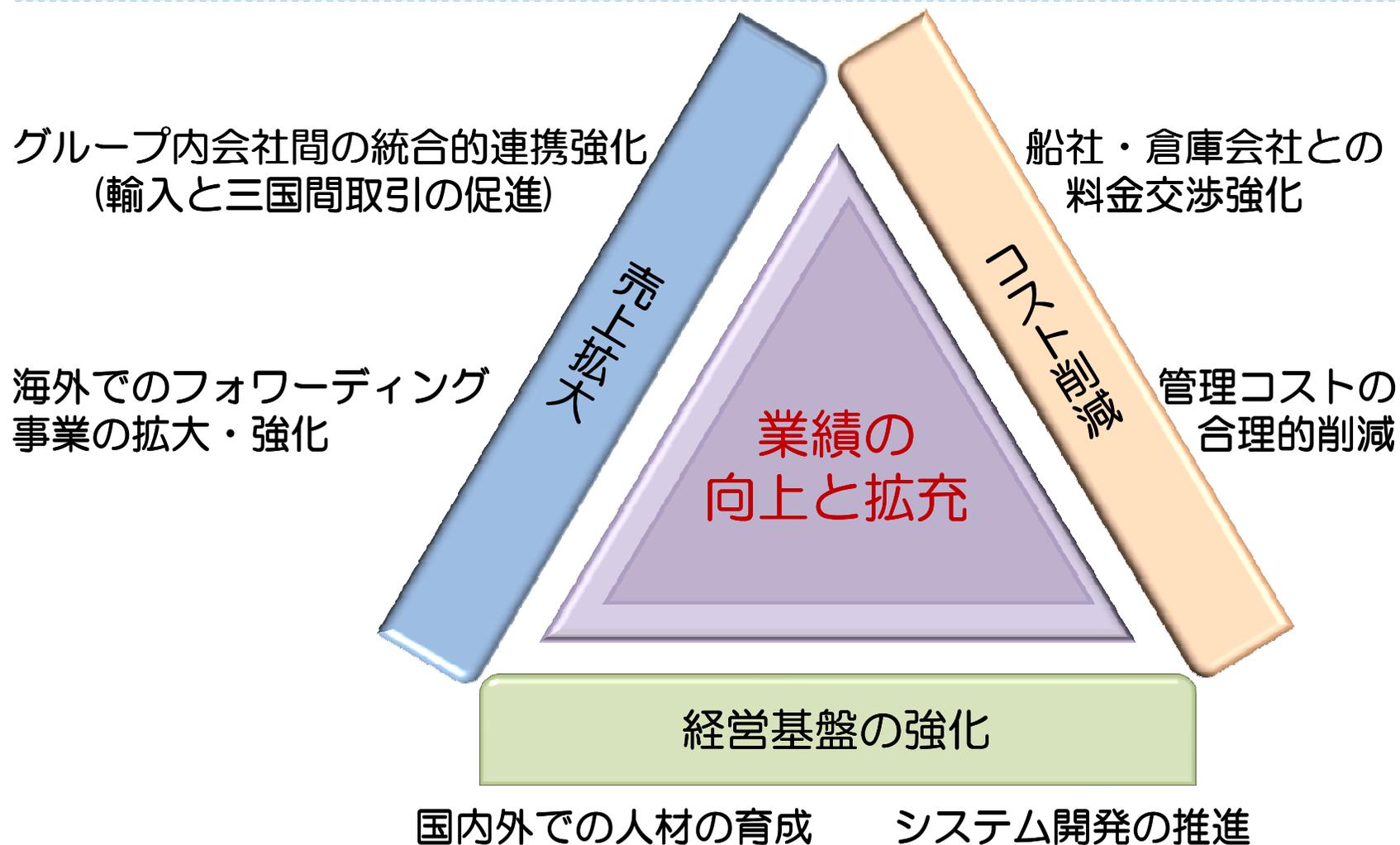


# 当社グループセグメント別売上の推移予想

(百万円)



# 業績の向上と拡充のための運営施策





5. 前中期経営計画の総括と  
今後の経営展望

## 中期経営計画の総括

- ・売上、利益とも2013年度は過去最高を記録するも中期計画の数値目標には届かず。
- ・国内、国外において、M&Aにより多角化を進めながら、航空事業および通関事業の取扱を拡大させる等、国際総合フレイトフォワードナーとしての基盤を形成することができた。

単位：百万円	2010	2013	伸長率	中計目標	達成率
売上高	11,443	16,796	47%	18,000	93%
営業利益	1,031	1,142	11%	1,800	63%
営業利益率	9.0%	6.8%	-2.2%	10.0%	-3.2%

## 国内における基盤形成実績と当面の展望

### 当初計画

- ・ 幅広いフォワーディングサービスの展開
- ・ 新規事業の育成と売上構成の質的変革
- ・ 新人事制度の推進

### 実績

- ・ M&Aの推進（ユーシーアイエアフレイト社とフライング・フィッシュ・サービス社）
- ・ 輸入業務比率の拡大（22%⇒27%）
- ・ 営業部長クラスへの若手登用の実施

### 展望

- ・ 国際総合フォワーダーとしての業績と地位を確保
- ・ IT戦略の総合化と最適化の推進
- ・ 人材育成と適正配置の進展

## 海外における基盤形成実績と当面の展望

### 当初計画

- ・グローバルネットワークの拡充
- ・海外現法による営業力と商品開発力の強化
- ・現地採用社員の積極的登用

### 実績

- ・インド現法買収、米国現法再編等
- ・現法間取引の推進と拡大
- ・現地採用社員の現法経営職階への登用開始

### 展望

- ・倉庫事業、3PL事業の積極的展開
- ・グループ全体収益の半分以上を海外で獲得
- ・現地採用社員の現法経営職階への登用拡大

## 今後の業務展開の方向性

# 国際総合 フレイトフォワード

海上輸送



航空輸送



フルコンテナ輸送

混載輸送

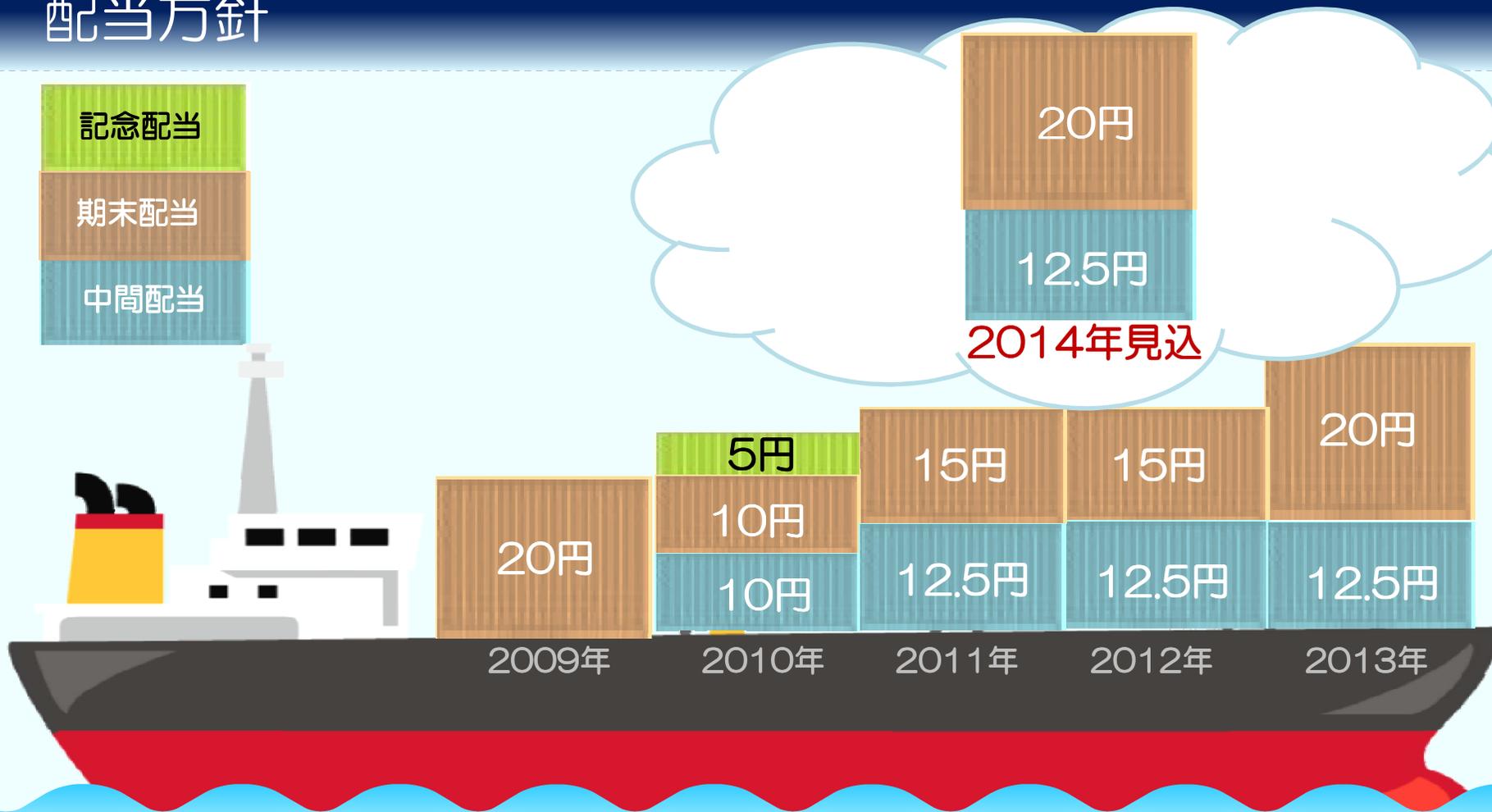
輸出入通関

三国間輸送

荷役  
(仕分・入出庫)

倉庫保管  
流通加工  
物流情報・・・

# 配当方針



\*2012年6月末を基準日として1：2の株式分割を実施。上記は遡及修正を行った場合の配当金額

ご清聴ありがとうございました



内外トランスライン株式会社  
NAIGAI TRANS LINES

取締役経営企画部長 三根 英樹

TEL 06-6260-4800

FAX 06-6260-4719

URL <http://www.ntl-naigai.co.jp>

本資料に記載されている計画や見通し、戦略などは既に具体化している事実を除き、本資料の作成時点で取得可能な情報に基づくものであり、これらにはリスクや不確実性が内在しております。そのため、実際の業績などは本資料に記載の見通しや予想とは異なる結果となる可能性があり、その内容を保証するものではありません。